

故郷よ（2011）

LA TERRE OUTRAGEE
LAND OF OBLIVION

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 フランス／ウクライナ／ポーランド
色彩 Color
時間 108分
初公開日 2013/02/09
公開情報 彩プロ
映倫 G

【キャッチコピー】
大地は失われても、この愛は消せない。

【解説】
チェルノブイリ原発事故で甚大な被害を受け、立入制限区域に指定されたウクライナの街プリピャチを舞台に、故郷を追われた人々の悲痛な運命を描き出したヒューマン・ドラマ。主演は「007／慰めの報酬」のオルガ・キュリレンコ。監督はこれが長編劇映画デビューとなるミハル・ボガニム。
1986年4月26日。チェルノブイリから、わずか3キロの隣町プリピャチ。この日、アーニャは結婚式を挙げ喜びに包まれていた。しかしその最中に山火事発生 の報を受け、アーニャの夫は消火活動に駆り出される。そして二度と帰ってこなかった。一方、原子力発電所の技師アレクセイは、原発事故の真相を知らされるも、守秘義務に縛られ誰も助けることができずに無力感を募らせる。数日後、ようやく住民に原発での事故が告げられ、強制退去が命じられる。10年後、アーニャは立入制限区域のこの街で、廃墟となったチェルノブイリを巡る観光ツアーのガイドとして働いていた。

【クレジット】			
監督	ミハル・ボガニム	Michale Boganim	
製作	レティシア・ゴンザレス	Laetitia Gonzalez	
	ヤエル・フォギエル	Yael Fogiel	
脚本	ミハル・ボガニム	Michale Boganim	
共同脚本	アントワーン・ラコンブレ	Antoine Lacomblez	
	アン・ヴェイル	Anne Weil	
撮影	ヨルゴス・アルヴァニティス	Giorgos Arvanitis	
	アントワーン・エベルレ	Antoine Heberle	
編集	アン・ヴェイル	Anne Weil	
	ティエリー・デロクル	Thierry Derocles	
	エルヴェ・ド・ルーズ	Herve de Luze	
音楽	レシェック・モジゼル	Leszek Mozdzer	
出演	オルガ・キュリレンコ	Olga Kurylenko	アーニャ
	アンジェイ・ヒラ	Andrzej Chyra	アレクセイ
	イリヤ・イオシフォフ	Ilya Iosifov	ヴァレリー（16歳）
	ヴァチェスラフ・スランコ	Vyacheslav Slanko	ニコライ（森林警備員）
	セルゲイ・ストレルニコフ	Sergey Strelnikov	ディミトリ
	ニコラ・ヴァンズィッキ	Nicolas Wanczycki	パトリック

ニキータ・エンシャノフ	Nikita Emshanov	ピョートル
タチアナ・ラスカゾワ	Tatyana Rasskazova	アーニヤの母
ジュリア・アルタモノフ	Julia Artamonov	カリーネ